

学外における販売実習

－ 『神島マーケット』の経理システムの作成・運用 －

和歌山県立神島高等学校 教諭 北川真也

キーワード：高校、販売実習、経理システム

1. 学校紹介

本校は、和歌山県の中部に位置する人口約8万の和歌山第2の都市、田辺市にあります。世界遺産にも登録された熊野古道への交通の要所として古くから栄え、紀州藩主徳川頼信の家臣安藤直次の治める城下町として栄えてきました。当地は、源平の合戦の際、熊野水軍を率い活躍した武蔵坊弁慶や、粘菌研究で有名な博物学者であり民俗学者でもある南方熊楠、合気道の開祖として有名な植芝盛平が活躍した土地でもあります。

本校のクラス数は1年生8クラス・2年生8クラス・3年生8クラスの計24クラスで、全生徒数949名の県内では比較的大規模な学校です。普通科と経営科学科を4クラスずつ設けおり、近年では、地元での就職難もあり、経営科学科における進路状況も進学が就職を上回っています。

2. 『神島マーケット』

(1) 取り組みの経緯

本校では、平成14年度より、地元商店街の空店舗を活用した販売実習を夏休み期間中に実施してきました。平成14年度、15年度は田辺商工会議所のバックアップもあり、店舗の賃借をお世話いただきましたが、平成16年度からは商工会議所の事業を離れ、家賃・広告料などの補助が受けられないなかで平成16年度より本校の単独事業として運営することになりました。

(2) 運営方法

「神島マーケット」では、3年生の課題研究「マーケティング実習」選択生が中心となり、本校の商業関連学科（流通系列・生活文化系列）の2年生約60名が、1日ごと3～5名程度のグループに分かれ、店舗を運営していきます。店舗内では3年生が2年生の指導をおこない、各グループは店長・販売係・経理係・商品管理係といった係から構成されており、それぞれが自分の役割に応じた業務をこなしていきます。

(3) 実施期間

3年生が4月より開店に向けての調査や準備をおこない、夏休み期間中の2週間程度を実施期間にあてています。また、実施期間中に地元商店街のまつり「8・8（ヤーヤー）まつり」が開催され、参加しています。

(4) 販売品目

主として、低価格のお菓子や玩具類、近隣の福祉作業施設で作られている日用雑貨、生活文化系列の生徒が作成した廃油を利用した手作り石鹸・お弁当袋・エコバッグ・アクリルたわしなどを販売しています。また、目玉商品として生徒デザインによるオリジナルTシャツ（写真1）を作成し、販売しています。

3. 経理システムについて

(1) 売上計算システム

授業でも学習しているエクセルを使い、システムをつくっています。マクロを利用し、ボタンを押すと(A)～(H)の各シートにジャンプするよう作成しています。

また、この画面の「作成日」入力が各シートへ反映されるようになっています。

(2) 各シートの説明

A. 商品登録画面

商品コード・商品名・仕入原価・販売単価・備考で構成されています。[商品マスタ]ファイルからリンクされており、データは自動的に更新されるようになっています。

B. 在庫管理台帳

商品の在庫管理と棚卸数量の把握をおこないます。前日在庫+追加仕入-棚卸数量の計算をおこない、実際になくなった商品の数量と金額を計算します。また、営業終了時点の在庫数量を翌日の在庫管理台帳ファイルの前日在庫として転記します。＜商品管理係＞

C. 売上集計表

売上伝票をもとに、商品番号と数量を入力します。＜経理係＞

D. 商品別売上伝票集計表（自動作成）

売上集計表より商品別の伝票売上を集計します。伝票による売上金額の集計もこの画面でおこないます。

E. 売上対照表（自動作成）

在庫管理台帳と商品別売上傳票集計表を照合し、実際に商品がなくなった数量と伝票の売上数量を比較します。一致しない場合、再度棚卸作業と伝票のチェックをおこないます。

F. 金種別集計表

売上代金の計算をおこない、金種ごとに入力します。〈店長〉

G. 営業報告書（自動作成）

棚卸、伝票、実際金額の3つの面から売上の分析をおこないます。金額が一致しない場合は、その分析をおこない、なぜ一致しないのか原因を考えます。

H. 発注書

商品の売れ行きと在庫状況を考え、発注書の作成をおこないます。〈商品管理係・店長〉

（3）その他の書類

営業日ごとのデータをもとに、営業報告書・仕入管理簿・売上管理簿・損益計算書といった書類を作成します。

（4）売上計算システム作成時の注意点

生徒の実際の作業内容に即したシートを作成することを心がけ、なぜ、この作業が必要なのか、コンピュータを利用することにより、作業の効率化が図れたかを実感できるようなシステムを構築しました。

作成当初は、コンピュータの処理能力も乏しく、1営業日ごとフロッピーディスクによるデータ保存を考えていたため、ファイルが1枚のフロッピーディスクに収まるよう工夫しました。具体的には計算式を用いる部分について、ファイルサイズが小さくなるようシートを分割することにより、複雑な計算を避けるなど改良を重ねました。

また、システムをブラックボックス化するのではなく、手作業による入力を通じて、システム全体の構成を誰でも理解でき、改良できるようなものにしました。

4. まとめ

この学外における販売実習をとおして生徒は、アルバイトとは違った、経営についてのしくみや経営のむずかしさを学んでくれたことと思います。また、経営の中で販売システムに触れ、コンピュータを利用することの便利さとコンピュータにはできない作業について考える機会を与えられたと考えています。一つひとつの取り組みは小さなものですが、生徒と教師の距離を縮めることにより、日常の学習がどのように役立っているのかを実感してもらえました。

写真



写真1 Tシャツデザイン



写真2 店舗外観



写真3 店舗内